

引戸車(床にレール有り) がスムーズに動かない

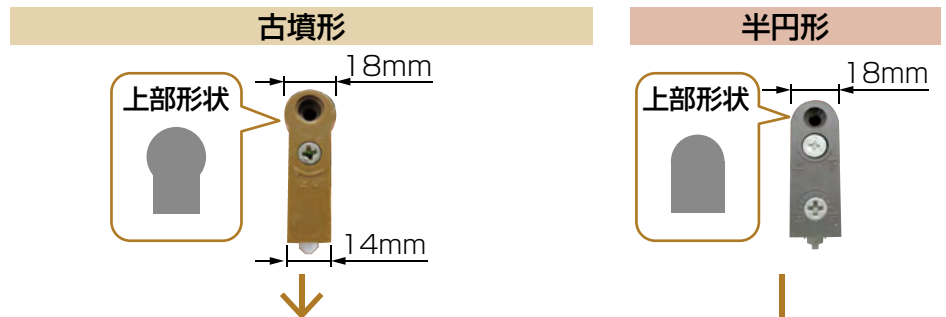


チェック! 戸車の形状を確認し、交換用の戸車を準備してください。

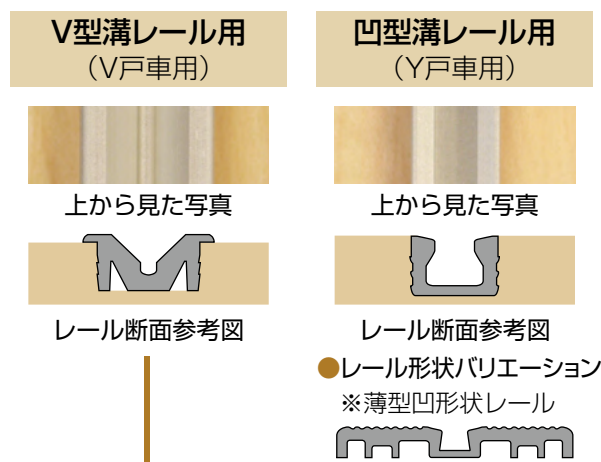
対応 戸車を交換してください。

1 戸車の端部形状の確認 →

※引戸側面にて戸車を確認できない場合は、修理ご相談窓口へご相談ください。



2 レールの形状の確認 →



3 補修用の戸車品番を手順 ①②の内容から確認する

製品年代の目安	1992~2000年	1995~2006年	2005年~
戸車上部形状	古墳形		半円形
レール溝部形状	V型溝レール用	凹型溝レール用	
参考姿図			
代替補修部品品番 ※戸車品番をご確認ください	<ul style="list-style-type: none"> ■ MJB900AS1 (ダーク) ■ MJB900MS1 (ミディアム) ■ MJB900NS1 (ライト) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ MJB901XM1 (共通色) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ MJB907K1 (ダーク) ■ MJB907NK1 (VERITIS用ダークブラウン) ■ MJB907N1 (ライト) ■ MJB907W1 (ホワイト) ■ MJB907B1 (ブラック)※1

※上記以外の戸車の場合は、ご自身では修理できません。修理ご相談窓口へご相談ください。
※1：ブラックは2018年以降。

次ページへつづく⇒

⚠️ 注意

- 引戸と敷居・枠のすき間に手や指を入れない
指をはさみこみ、けがをするおそれがあります。
- 引戸に衝撃をあたえない
指のはさみこみやガラスの破損などでけがをするおそれがあります。
- 指定の商品以外は使用しない
本体や部品の破損などでけがをするおそれがあります。

- 上枠に引戸が十分(3mm以上)かかっていることを確認する
かかりが少ないと、引戸本体が転倒してけがをするおそれがあります。
- 作業中は引戸を支える
- 必ず二人作業で行う
引戸重量が重いため、引戸本体が転倒してけがをするおそれがあります。

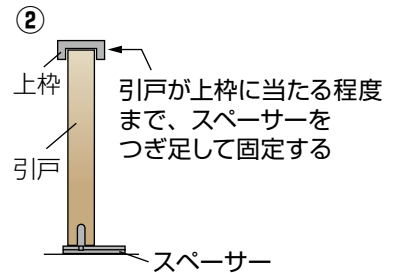
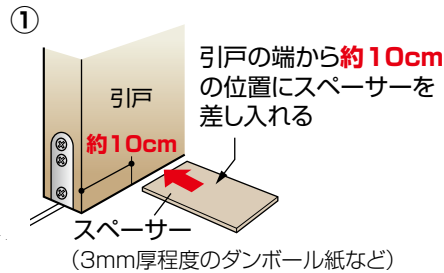


戸車の交換方法

① 一人が引戸を持ち上げる(交換する戸車側)

② もう一人が引戸と床レールとの間にスペーサー(引戸固定部材)を差し入れる

● スペーサーについて



③ 古い戸車を外す

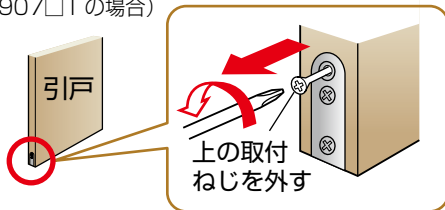
※引戸下部の戸車の取付ねじを取り外し、戸車を取り外してください。

- お願い**
- 作業中は、一人が引戸を固定してください。
 - 戸車を外す際は、軍手を着用してください。

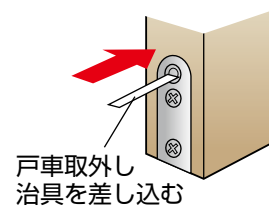


① 上の取付ねじを外す

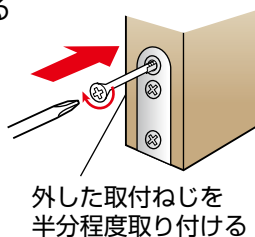
上→取付ねじ 中→上下調整ねじ 下→左右調整ねじ
(※MJB907□1の場合)



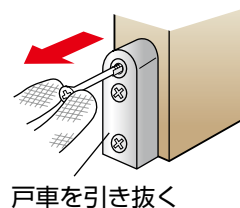
② 取付ねじを外したあと、戸車取外し治具(紙片)をねじ穴に差し込む(1~2枚)



③ 外した取付ねじをねじ穴に半分程度ドライバーで取り付ける



④ 取付ねじ頭部を引っ張り、戸車を引き抜いて取り外す

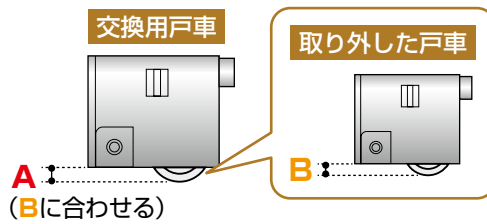


※取付ねじが戸車から外れる場合は、戸車取り外し治具の枚数を増やし、再度②以降の作業を行ってください。

次ページへつづく⇒

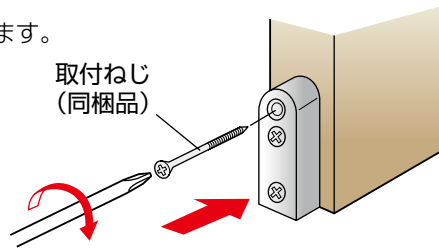
4 戸車の高さを合わせる

※交換用戸車の寸法Aを、取り外した戸車の寸法Bに合わせてください。



5 新しい戸車を取り付ける

※同梱のねじで戸車を取り付けます。



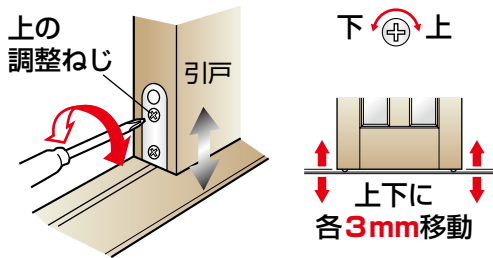
6 スペースを取り外す

※戸車を交換した側の引戸を少し持ち上げ、2で取り付けたスペースを取り除きます。

7 戸車を調整する

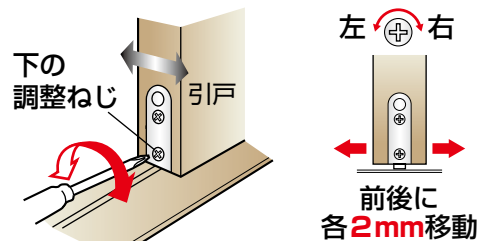
※引戸を開閉して、引戸が枠と当たる場合は、戸車にて引戸の建て付けを調整してください。

●高さ調整



●左右調整

※品番により左右調整機能が無い場合があります。

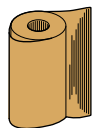


※図は、MJB907□1の場合です。

8 確認する

※上枠に引戸が十分(3mm以上)かかっていることを確認してください。(前ページ「注意」をご覧ください。)

使用する
道具



3mm厚
程度の
ダンボール紙



軍手



プラス
ドライバー

交換用の戸車は「ハイ・パーツショップ」で購入できます。

ハイパーツショップ 検索

クリックで
WEBサイトへ

ハイパーツショップ

QRコードを
読み取って
アクセス

